

第2回 大東市地域公共交通会議 議事概要

- . 日 時 平成28年4月27日(木) 午後2時から午後4時頃まで
- . 場 所 大東市立市民会館 3階 304会議室
- . 出席者 委員16人(委員3人欠席)および事務局6人
- . 議題等
 - 1. 開 会
 - 2. 新委員紹介
 - 3. 第1回大東市地域公共交通会議の議事録(概要)について
 - 4. 東部地域の地域公共交通計画(案)について
 - 5. 運行方式等について
 - 6. 今後のスケジュールについて
 - 7. 閉 会

1. 開会

2. 新委員の紹介

<事務局：新委員および欠席委員の説明>

3. 第1回大東市地域公共交通会議の議事録(概要)について

<事務局説明>

4. 東部地域の地域公共交通計画(案)について

<事務局：資料説明>

各地区で実施したワークショップで出た要望に基づく運行案を説明。

5. 運行方式等について

<事務局：資料説明>

定時定路線運行および定路線デマンド運行に関する案を説明。

東部地域の公共交通の運行方式および使用車両に関し、本日の資料に基づき決めていきたいと提案する。

【会長】

<補足説明>

- ・ 定時定路線型は路線バスだが、細かい道まで入るので車両がバスではなく乗用車、決まった時間に決まったルートで運行される。乗客がいなくとも走らせる。
- ・ 定路線デマンド型は路線バスだが、車両は同じく乗用車、予約が入らなければ運休する、乗客が限られているため、乗客のいない停留所は飛ばして行く運行形態である。
- ・ デマンド型は予約無で運休するので、定路線デマンド型のほうが経費は安い。

【委員】

- ・ 東部地域における弊社の路線は寺川や中垣内周辺の方に多く利用していただいている。
- ・ 寺川や中垣内から住道へ新たな路線を引くと、何かしらの影響が出るのではないかと。
- ・ 地域の皆さんが望まれる公共交通と弊社の路線をうまく連携をしていただきたい。

【会長】

- ・ 今後の細かい路線の検討のときに、共存という方向で進めていくのが基本だと思う。

【委員】

- ・ 定路線デマンド型での問題は「予約の方法をどうするか」である。
- ・ 他市では、前日の締め切りや、ある程度の時間帯を決めて予約が多い。
- ・ 予約が多い場合に追加で車両を出すのか、大きな車両で運行するのも考えるべき。
- ・ ジャンボタクシーを運転していた運転手は、東部地域は道が狭く坂も多く、平坦な場所が少なくいため、乗降に苦慮したようだ。
- ・ 停留所間が短距離かつ坂道で、ブレーキを踏む回数が多く、お客さんが車内で危険である。

【会長】

次に地元の方の意見をいただくということで、ワークショップに参加されていた委員から、ご意見をいただきたい。

【委員】

『地域の意見』

- ・ 定時定路線型、定路線デマンド型のどちらに決まったとしても、同意する。
- ・ 交通事業者との競合については、近鉄バスにはそんなに迷惑をかけないのではないかと。
- ・ 定路線デマンド型の方がタクシーに近いのでその方がいいのではないかと。
- ・ 地区としての運行形態は、予約の不便さから定時定路線を希望されている方が多い。
- ・ 野崎病院や東大阪の生喜病院、万代南津の辺店に行ってもらえるとありがたい。
- ・ 停留所は安全性を十分確保願いたい。
- ・ 定路線デマンド型の方がいいのではないかとという意見が多かった。
- ・ 地区内は特に急峻なので、定時定路線型だと停留所の数が限定されてしまう。
- ・ 定路線デマンド型か定時定路線にするかは、次のワークショップで住民の方に決めていただきたいと思っている。
- ・ 1日も早くここでやっていることが形となって乗れるようになることを祈っている。

『地域の事務局案に対する疑問点』

- ・定路線デマンド方式で運行する場合、予約方法はどのようになるのか。行きの便を予約する際に帰りの便の分も予約するのか。
- ・定路線デマンド方式で運行する場合、停留所は何か所程度設置できるのか。

【会長】

予約方法に関し、帰りの予約がどうなっているのかについては、今事業を営んでいる事業者が参加しているので、実態を教えていただきたい。

【委員】

- ・予約は行きも帰りも同時にしていただければ一番ありがたい。
- ・定員があり、急に帰りの便を予約されても定員でいっぱいでお断りすることになる。

【会長】

予約の件については、実際には運行の何時間前と期限が設定されているケースがある。引き続き、停留所の設置数について、事務局に意見をいただきたい。

【事務局】

たくさん停留所を作りたいが、坂道は止められない、道幅が狭いなど、条件が当然ある。地域の方の希望をいれながら警察や道路管理者と協議することになる。

【会長】

これまでの話を踏まえ、地域の委員の皆様を確認したい。様々な意見が出ているが、定路線デマンド型か定時定路線型か、現時点でどちらが地域にとってふさわしいと考えますか。

【委員】

『地域の意見』

- ・私の地区は前回ワークショップで、住道発着のデマンド方式である程度決まっているが、再度、2回目のワークショップで意見を聞いて確認したい。
- ・2回目のワークショップで定時定路線、定路線デマンドについて専門家の話を聞くと、また変わってしまうかもしれない。
- ・停留所が増えるとか減るとか、乗る人がいないと運行しない等、長所と短所がなかなか住民には伝わらない。
- ・地元の方の意見で多い順番にいうと、「どちらかといえばデマンド型」、「定時定路線」、「使わない」、「デマンド型」、「デマンド型で住道発着がいい」という結果。
- ・どちらかで言うと定路線デマンドの方が多そうだが、必ずしも完全に集約されていない。
- ・定路線デマンドにしても定時定路線にしても、住民が決めるべきである。
- ・地域の特色を活かした形の運行方式をとってほしい。
- ・寺川や中垣内は定路線デマンドで、北条は定時定路線でというように、全て同方式と考えず、住民が交通手段を決めるということであれば、住民の意見をもっと広く聞くようにしてほしい。

【会長】

現時点ではどちらの運行方式がふさわしいのか、決め手に欠けるようですね。ただ、考えられる問題として、各地区においては何からの方法で意見の集約をして、次回以降、会議に持ちよったとしても、各地区で意見が違う可能性がある。

定時定路線を選ぶ理由は、予約の問題で予約が煩雑でないのか、キャンセルが煩雑ではないのかということが気になり、定時定路線がいいのではないかという意見だったのではないかと思う。逆に定路線デマンドを選ばれた主な理由は、バス停の数と位置、バス停をきめ細かくできるのではないかということだと思う。この点をそれぞれ解消すれば、どちらがいいかを一概には言えないが、もしかしたら意見集約ができるのではないか。

【委員】

どうして、意見を一本にまとめないといけないのですか。

【会長】

これは法律上で決まった会議なので、「こういう方式で運行します」という議決をしないといけない会議である。何となく意見を言い合うという会議ではない。意見を集約して議決して、それをもとに事業免許申請をしないといけない。

【委員】

デマンドタクシーになった場合、例えば、中垣内1人、寺川で1人、野崎で1人とそれが全て住道駅に行きたいと予約が入っている場合、野崎を回って、寺川を回って、中垣内を回って住道駅に行くのか。そうすればおのずと走行距離は増える。それと中垣内と住道の往復の場合で運行距離がかなり変わると思う。そういうコース設定はどう捉えればいいのか。

【会長】

3つの地区を結ぶように路線が設定されていれば、一筆書きで運行するので距離が増えることになり、それぞれの地区が駅とピストン輸送するような路線設定であれば、距離は伸びない。また、運行のイメージは使用する車両がタクシーで実態はバス路線だと思ってください。タクシーだと臨機応変に道が混んでいたらこの道に行こうかとなるが、定路線デマンドでは走る道が基本的に決まっています。ただし、乗客が明らかにいないときだけ、ショートカットできるという例外はあります。

【事務局】

ある程度の地区の運行エリアから目的地を決めて、そこまでに20分・30分とある程度の時間を設定しないと、順番に回って行って最後に住道となるとすごく時間が掛かる。エリアを区切って最終目的地を決め、1コースあたり最大距離でも30分以内で運行し、地域の方の意見をもとに、停留場を設置していく流れで進めていく予定である。

【委員】

基本的にはおおよそ1地区・1コースだが、駅などの最終目的地が同じで、コースが合同になっても1便あたり30分以内で回れる地区は同じコースになる可能性があるという捉え方

でいいですね。そこが住民に説明するのに大事だと思うので伺いたかった。

【委員】

私どもが思うのは地区毎にデマンドか定時定路線かの選択は地区の方々に決めればいいのか。それをなぜ1本にしないといけないのか。理由はあるのか。

【事務局】

今まで進んできた事務局の方針としては、定路線デマンドか定時定路線かどちらかの方式を皆さんで話し合っていていただき、一つの方式で決定していきたいと考えている。

事務局としての第一の目的は、お住まいの方の利便性を高めることで、できる限りご要望は伺いますが、現時点では運行方式を一つに何とかまとめたいたいと考えているので、運行方式について詳しくご説明できる資料を作らせていただき、もう一度、地元に入らせていただきたいと思います。

【会長】

皆様、本日は熱心なご議論ありがとうございました。

今後についてはもう少し踏み込んだ資料を作って地元で意見を伺いに行くという事務局の意向ですので、そのように進めていただければと思います。

意見が集約されていれば、「こちらの運行方式でいくがどうか」を問う議決をする予定でしたが、今回は意見が集約されていないので、次回以降ということにさせていただきます。

6. 今後のスケジュールについて

＜事務局：資料説明＞

今後の交通会議の進行予定を説明。

7. 閉会

以上